



## 研修講座紹介

今年度開催した研修講座を紹介します。

### 教科化を見据えて、今取り組むべきこと

小学校外国語Ⅱ講座…10月2日(火)

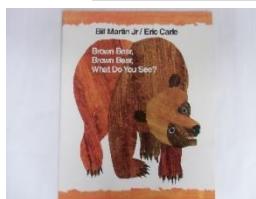
再来年度より実施される新学習指導要領(小学校)においては、新たに第3、4学年で「外国語活動」が必修化されるとともに、第5、6学年では教科化された「外国語」が実施となります。このことを見据えて、今取り組むべきことを理解していただくための研修講座を行いました。

最初に、授業時数や新教材など今の動向について教育センター所員による説明を行い、その後、高学年新教材「We Can!」で設定されているスモールトークの目的や活用法について学んでいただきました。また、実際にスモールトークを扱いながら、どのように取り入れていけば良いかを受講者に考えていただきました。



スモールトークとは…高学年新教材で設定されている活動。2時間に1回程度の帯活動で、あるテーマのもと、指導者のまとまった話を聞いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりすること。

#### 実践発表で紹介された絵本



次に、「絵本を使った授業づくり」について、白石町立北明小学校の原和義先生に実践発表を行っていただきました。英語の絵本『Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?』や補助教材絵本『In the Autumn Forest』(文科省開発)を授業に生かした事例の提案があり、受講者に大変好評でした。

○Good job とは「頑張っているね」という意味の褒め言葉です。教室の中で、子供達からも私たち指導者からもたくさんの Good job が聞こえるような授業を目指していきたいものです。

○スマートフォンで右のQRコードを読み取れば、教室で使えるクラスルームイングリッシュの例をいつでも気軽に聞くことができます。

Good job が聞こえるような授業づくりにご活用ください。



QRコードをかしゃっ！  
日本語と英語の音声が  
聞こえるよ！



イメージキャラクター  
Good Job くん

制作者  
三里小校長・武富秀之 先生

#### Classroom English 集

(出典 広島県海田町教育委員会「海田町グローバル通信」より一部抜粋)

1. 「授業の始めに」「授業の終わりに」
2. 「ほめる」「励ます」
3. 「基本の指示など」
4. 「テキストやワークシートを使う時」
5. 「カードを使う時」
6. 「ゲームやアクティビティA」
7. 「ゲームやアクティビティB」
8. 「ゲームやアクティビティC」
9. 「ALTとの会話」

Copyright 2018 Saga Prefectural Education Center.

※佐賀県教育委員会から、ICT利活用リーフレット「小学校外国語活動・外国語」Good Job!が今年中に配布予定です。

このページの記事についての問い合わせ先

短期研修担当 0952-62-5212(直通)

## 小・中の学びのつながりを意識した授業づくり

中学校英語科 I 講座… 7月31日（火）

小学校において新しい外国語教育が導入されることを受け、「小・中の学びのつながりを意識した授業づくり」というテーマで研修講座を実施しました。



午前の研修は、小学校外国語活動 I 講座と合同で行いました。講師に福岡教育大学教育学部教授、中島亨先生をお迎えし、新学習指導要領の内容について分かりやすく解説していただきました。私たち教師が、校種を超えて互いを理解し、同じゴールに向かって協力し合うことの大切さや楽しさを実感できる時間となりました。

午後は、東原摩舎中央校の横山千晴先生による実践発表や単元計画の作成を通して、小学校の学びを生かした中学校の授業づくりについて、受講者に理解を深めていただきました。



### 受講者の声

- ・小学校の先生と英語について交流する機会がほとんどなかったため、とても貴重な研修の場となりました。
- ・小学校における英語の授業の取組や大変さが分かり、中学校でも小学校の学びを踏まえた授業ができるように考えていきたいと思えます。

この記事についての問い合わせ先

短期研修担当 0952-62-5212（直通）

## 学校における食育の充実に向けて

食育講座を聴講して…10月9日（火）



講師に、「はなちゃんのみそ汁」の著者である、西日本新聞社編集委員の安武信吾氏をお迎えし、「食べることは生きること～はなちゃんのみそ汁から食育を考える～」というテーマの講演を行っていただきました。

まず、一人暮らしの大学生の食事記録から問題提起をされました。朝は食べなかったり、炭酸飲料とコンビニのおにぎりだったり、夜は居酒屋での食事が続いたりするような事例を聞き、愕然となりました。なぜこのような事態になったのか…それは、子供が幼いときに料理をすることを大人が教えなかったからだと言われました。

心打たれたのは、はなちゃんが生前のお母さんから教わった料理のことでした。子供の成長を見届けることはできないと宣告されたはなちゃんのお母さんは、自分がいなくなっても生活に困らないようにと、まず、みそ汁の作り方を教えられたそうです。その後、愛妻を亡くし安武氏が憔悴しきっておられたときに、お父さんを元気づけようと晩ご飯を作った5歳のはなちゃん。時にはビール付きの日もあったとのこと…。



安武信吾氏

香川県の竹下和男先生が考案された「弁当の日」のこともお話になりました。小学5、6年生が毎月1回、買い物から始める弁当作りを続けることによって、料理をする技を身に付けただけでなく、食材や料理をしてくれる人への感謝の心を抱くようになり、思いやりをもって人と接することができるようになったということを話されました。



聴講者の声：学校や家庭、地域の大人がそれぞれの立場で、子供たちに食の大切さを伝えなければならないと切に感じた時間でした。

この記事についての問い合わせ先

教育課程支援担当 0952-62-5238（直通）

## 11月のサタセン

11月に実施する「サタセン」（土曜日に教育センターで行う自主参加の研修会）の概要を紹介します。詳細は、各担当から学校へ案内します。

**各校種・教科等の担当へ各自で直接お申込みください。**

**（管理職を通しての申込みではありません）**

校種・教科等	期日	時間	テーマ・内容等	連絡先・担当者
小学校国語科	11/17	9:30～12:00	自己の考えの形成を重視した、国語科の単元づくり 講師…佐賀大学 教授 達富 洋二先生 <b>※会場は城西中学校です。</b>	Tel.0952-62-5214(橋本)
中学校国語科	11/17	14:00～16:30	単元の評価と定期考査 講師…佐賀大学 教授 達富 洋二先生 <b>※会場は城西中学校です。</b>	Tel.0952-62-5212(岩瀬)

サタセンについての問い合わせ先

短期研修担当 0952-62-5212（直通）